

平成 29 年 1 月 27 日

地盤工学会関東支部 平成 28 年度 第 5 回会員 SG 幹事会議事録

日時 : 平成 29 年 1 月 25 日(水) 15:00～

出席予定者 : 9 名

田中 剛	×	鈴木 亮彦	○	荒井 郁岳	×	佐々木 隆光	○	槌谷 勝之	○
堀 智仁	○	三上 武子	○	山中 光一	×	武田 陽	○	伊藤 友哉	○
佐藤 芙美	○	太田 秀樹	×	重村 智	○				

■ 報告事項

1) 前回議事録の確認

- ・ 議事録を確認した。

2) 行事報告(ニューズレター)

- ・ ジオ散歩
- ・ ソイルストラクチャーコンテスト

3) H29 年度予算案(運営委員会提出済み)

- ・ 幹事会を除く行事で予算を均衡させ、支出 60 万円、収入 51 万円、収支-9 万円で提出した。

■ 検討事項

4) 今期開催行事の振り返りと来期に向けた課題整理

「若手技術者交流会」

ー 振り返り・反省点 ー

- ・ パネリストに経験談や失敗談を話してもらうように企画したが、業務内容に関わることなので話し辛かった。今後のテーマ選定が難しい。
- ・ 女性参加者から事前にいただいた質問の中に、「働き方」に関する内容があったが、会の中で汲み取ることはできなかった。

ー 意見 ー

- ・ 若手同士の交流を促進するためのプログラム作りが重要である。
- ・ シニアに喋ってもらうのも手ではないか。
- ・ パネリストは 2 名くらいにして、ディスカッションの時間を多くした方が良い。

- ・事前のアンケート(質問)を広く集め、それを元にテーマ別のテーブルを設けてグループディスカッションをしてもいいのではないか。
- ・お互いの立場を意識しないように、あえて名刺交換をしないというのはどうか。

### 「ジオ散歩」

#### － 振り返り・反省点 －

- ・テーマがマニアックだったので、もしかすると敷居が高いと感じた人がいるかもしれない。
- ・参加者は20名に制限したが、それでも説明者の声が届かないことがあった。
- ・会告をメーリングリストに流してから、週末を挟んで3日で定員に達した。リストから漏れている人は参加のチャンスが少ないかもしれない。

#### － 意見 －

- ・参加者から、次回は「土地の起伏」を見たいという意見が多く挙がった。都市大の周りの地形は面白いのではないか。
- ・土地の起伏に関しては、詳しい人が多い業界なので、説明者も比較的探しやすい。
- ・準備(テーマ選定、説明者選定と依頼、コース下調べ、しおり作成)に労力がかかるので、同じテーマで何回か(年2回または数年おきのローテーション)開催するのもいいのではないか。

### 「ソイルストラクチャーコンテスト」

#### － 振り返り・反省点 －

- ・100均材料の体積測定はスムーズだったが、文房具(特にハサミ)が足りなかった。
- ・100均材料のバリエーションが出尽くした感があった。
- ・懇親会の料理の量はちょうど良かった。お酒は買い足したが、大きな支出では無かった。

#### － 意見 －

- ・今の液状化対策のルールに各チームが慣れてきており、次年度は新しいことを始めてもいいかもしれない。
- ・新しいアイデアとして、杭、斜面、盛土などが挙がった。
- ・液状化のテーマをアレンジして、岸壁の側方流動も面白そうである。

「その他全般」

－ 振り返り・反省点 －

- ・ 秋のイベントは他と被る可能性が高いので、調整が難しい(ソフトボール等)。
- ・ イベントの参加校、参加者が固定化してきている。

－ 意見 －

- ・ イベントの様子を編集した動画、写真を Youtube、SNS にアップしたら、今まで参加していなかった学生、若手への PR になるのではないか。
- ・ 学生幹事の人数を増やしても良いのではないか。様々な大学から参加してもらうことで、連絡・調整がスムーズになる。

5) 評議員会提出予定資料

- ・ H28 年度事業報告、H29 年度事業計画を確認した。

6) H29 体制

- ・ 佐々木さん、堀さん、武田さん、鈴木が今年で退任。
- ・ 鈴木の後任として、不動テトラの山下が加入予定。
- ・ リーダー幹事 2 名体制は、引継ぎがスムーズに進むので、これからも続けた方が良いのではないか。
- ・ 学生幹事は 2 名追加を目指す。東京電大から 1 名候補者が挙げられそうである。小峯先生にお願いして、早稲田大学から 1 名参加してもらうのが良いと思われる(正式なオファーが必要)。

■ その他

- ・ 次年度の幹事会は 4 月後半。
- ・ 新しい名簿の案を 2 月 22 日までに青木さんに送付する。